



古  
民  
家  
落  
語  
会

彦根の昔ばなし

# 古民家落語会

彦根を中心とした湖東地域には、昔ばなしや伝承が多く伝わります。

そうした伝承は、物語としてまた一部は落語などの芸能として後世に伝えられました。本町宿があるこの一帯は江戸時代は上魚屋町・連雀町・職人町と呼ばれ、城下町を形成した一帯でした。今回は、地域の昔ばなしを語りで紹介いたします。江戸の町人が生き生きと暮らす様子を描いた落語を楽しんでいただく会を開催します。

## 落語 桂 弥太郎



大学卒業後、映像編集の仕事3年、その後求人広告の制作を2年ほど経験したのち、2009年桂吉弥に入門。同年11月8日豊中市伝統芸能館で行われた「岡町落語ランド」で初舞台。芸名の由来は入門当時

話題になっていたNHK大河ドラマ「龍馬伝」の岩崎弥太郎にちなんでつけられた。2012年から、ワークショップと落語をまじえた落語会「やたらうであそぼ！」などを彦根で開催。

## 語り 彦根お話しを語る会

昔ばなしを語る事を中心に絵本の読み聞かせ、わらべうた、手遊びなどを皆さんに聞いていただく活動をしています。平成4年設立。現在会員は17名で活動。図書館・保育園・小学校・文庫・学童保育・介護施設などで話の語りを中心に活動中。



2016年10月22日(土)

開演 18:00 (開場17:30)

城下町彦根の町家 本町宿

(本町三丁目3-55)

落語: 桂 弥太郎

語り: 彦根お話しを語る会

1500円(お茶とお菓子つき) ※未就学児無料

お問い合わせ先 NPO法人ひこね文化デザインフォーラム

〒522-0063 彦根市中央町7-47 Kビル 3階

TEL 0749-23-3383 FAX 0749-27-6880

主催: NPO法人ひこね文化デザインフォーラム 後援: 彦根市・彦根市教育委員会・彦根商工会議所・彦根商店街連盟・(公社)彦根観光協会

語り 「腹痛み石」  
落語 「子ほめ」  
語り 「なら梨とり」  
落語 「七度狐」



地域の町家を地域資源に!

本町地区は、江戸時代の城下町の趣を色濃く残す情緒豊かな街並みが魅力です。辻々からは壮麗な彦根城天守が望め、暮らしの中に豊かな歴史を感じることができる町です。この町並みにも使われなくなった町家が多くみられるようになりました。そこで、ひこね文化デザインフォーラムでは、町家を地域資源として活用するため、地域の皆様の交流や彦根の文化・歴史を体験できる場所として「城下町彦根の町家 本町宿」を整備しました。

豊かな自然と恵まれた歴史に包まれて、私たちの町のよさを見直す機会になればと思います。